

会議結果報告書

平成27年11月25日

会議の名称	第6回志木市総合振興計画審議会
開催日時	平成27年11月10日(火) 14時00分～14時40分
開催場所	市役所4階 全員協議会室
出席委員	西川 和人会長、木下 良美副会長、 河野 芳徳委員、吉川 義郎委員、神山 邦明委員、 大木 勝臣委員、為井 俊充委員、渡邊 一俊委員、 持田 直人委員、金谷 慶國委員、浮田 朋美委員、 近藤 訓委員、清水 一敏委員、長島 とも子委員、 長谷 美幸委員、松浦 優子委員 (計16人)
欠席委員	金子 幸一委員 (計 1人)
説明員職氏名	【政策推進課】 松永企画部参事兼政策推進課長、外立政策推進課主幹、 伴政策推進課主任、 【ランドブレイン株式会社】 加藤 敬昭、石井 かおる (計5人)
議 題	1 開会 2 審議事項 (1) 志木市将来ビジョン(第五次志木市総合振興計画 将来 構想) 答申について 3 その他 4 閉会
結 果	議題2(1)の審議事項について、事務局から審議会委員に説明し、審議及び質疑応答を行った。 (傍聴者2人)
事務局職員	松永企画部参事兼政策推進課長、外立政策推進課主幹、 伴政策推進課主任、星野政策推進課主任、吉田政策推進課主事

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開会

- ・ 議事に入る前に、傍聴者の有無について確認を行った。
→傍聴希望者あり。
- ・ 会議を公開としてよいか諮る。
→全会一致で承認、傍聴者が入室する。

2 審議事項

(1) 志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画 将来構想）答申について

会長より志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画 将来構想）答申について（案）及び志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画 将来構想）素案について説明後、質疑応答を行った。

（委員）

小中一貫校について、メリット・デメリットは議論されてきており、メリットとしては、小学校から中学校へのギャップが緩和され、質の高い教育が可能となること。デメリットは、小学校高学年のリーダーシップを発揮する場面がなくなってしまう恐れがあると言われている。

まだまだ子どもの数もおり、先生の数も確保できるような地域であれば、本当に小中一貫校が必要かは慎重な議論が必要である。

（会長）

今のご意見についてどのように取り扱うか、今日この場で表記の変更等を行うべきかご議論いただきたい。

（委員）

小中一貫教育については、文科省で大きな方針が出ており、全国の自治体で方針が決められている。志木市の教育会議でも大綱を現在作成中であるが、大綱の中でも小中一貫を目指すということで対応を進めている。メリット・デメリットはあるが、志木市独自の取り組みではなく、長い年数をかけて審議した結果、国で決まったことである。

（会長）

是か非かはこの場で議論すべきことではないので、答申をした後に今度は議会で審議されることとなる。その場で十分議論が行われると思うので言葉を慎重に考えるべきである。

(委員)

取り組むか否かは、今後検討いただきたいが、答申の中で「具現化する」という文言は、強い表現に感じるため、「具現化するかどうかを検討する」程度の表現でもよいのではないか。

(委員)

初めて聞く方にとっては、「審議する」「検討する」等の方が良いのではないか。表現を変えても良いのではないか。

(委員)

志木市は質の高いものを目指すような言い方に変えれば良いのではないか。「具現化し」の前に「幼保小の連携や小中一貫教育などを多方面の観点から鑑み」といれるなど。

(委員)

「検討」や「視野に入れて」など、そのような表現の方が良いのではないか。

(会長)

熟考・多方面を鑑みて、さらにより良いものを志木市としては求めるべきであろう、という意見で一致したが、あとは答申のなかの文言を変更するか、参考意見として「強く要望する」と書くこともできる。

(委員)

参考意見とせず、将来ビジョンに残した方が良いのではないか。

(事務局)

会長にご一任いただき、検討する。市長に答申したものについては、委員の皆さまにお送りさせていただく。

(委員)

参考意見の災害対策について、志木市でも地域防災計画を作成したばかりであり、取り組んでいないように感じられるため、「その前に」を「その都度」という文言に変更していただきたい。

(会長)

ご議論いただき、ありがとうございます。答申については、明日市長に提出させていただく。

3 その他

4 閉会